

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2004.06.2

参加者 高松（仁美小）倉橋（西大寺南小）柴田（西大寺南小）
松本（国府小）田辺（津島小）福井（伊島小）

【理科ノートの教材研究】田辺・松本

子供達が授業中にとるノートをどう指導するか。田辺先生と松本先生は授業の前に自分で子供と同じノートを書いてみるのだそうです。1回の授業を必ず見開き2ページに収まるように整理し、めあてから結論までを一目で分かるようにまとめるのだそうです。確かにスッキリとしたノートです。毎回こうしてノートを書いていけば教師としての技量も向上するだろうなと感心しました。ちなみに福井は「問い」「予想」「実験方法」「結果」などと書かれたカードに磁石をつけて黒板に貼りつけ同じパターンで板書するようにしています。



【皿回し】福井

植木の鉢皿に紙コップの底をつけて回す皿回しをしました。

【動き出す紙】福井

立命館大学文学部心理学科の北岡明佳助教授のホームページ (<http://www.ritsume.ac.jp/~akitaoka/index-j.html>) には目の錯覚を利用したトリックイラストがたくさんあって面白いです。右図もその一つで、しばらく見ているととぐろを巻いたヘビがグルグル動き出します。これは色の濃淡による視覚情報の処理時間差によって生じる現象ではないかと言われています。同様のイラストは『トリック絵本』（竹川広三：主婦の友社）にも載っています。（あまりオススメではない）



【ジターリングの量産】倉橋

松本先生紹介のジターリングをさっそくクラフトマン倉橋が完成度を高め、量産への道を開いたようです。ポイントは針金の切断と切断面の処理を電動工具で行うというところ。確かに仕上げがきれいだし児童の作業時間も大幅短縮です。倉橋先生はこれを参観授業でやるそうです。はたして結果はいかに！？



【あるなしクイズ】倉橋

羊にあって山羊にない。南にあって北にない。嵐にあつても台風にはない。鏡にあるけど窓にはない。さて、な～んだ？

【アキバボ～ン】松本

『秋葉カンペーのアキバボ～ン』宝島社、という本の紹介です。

本の中央部分を閉じたまま半分だけ開く。すると左ページの左半分と右ページの右半分が見える。この状態で何か意味のあるイラストを描く。例えば「お花」。ところが隠れていた中央部分を開いてみると、なんと「お花」が「ウーパールーパー」に大変身！というような仕掛け絵本。大人向きの本なので内容はちょっと低俗かもしれない。しかし、こんな単純な手法で驚きのある楽しい2コマアニメができるというのは、なかなかのグッドアイデアだと感心しました。

